

オンラインイベント

ポストコロナを見据えた
これからの

地方創生



人口減少に歯止めをかけ、経済を活性化し、地域がそれぞれの強みを生かした日本社会の姿を目指す施策として「地方創生」が打ち出され、各地で独自の取り組みが進んでいます。

しかしながら、長期化する新型コロナウイルス感染症の脅威は、人の流れを止め、仕事の機会や場所を奪い、出生数減少を加速化させるなどの影響をもたらしました。

一方で、感染症への対応が人々の価値観や行動に変化をもたらし、デジタルを活かしたリモートワークやワーケーション、「転職なき移住」などの新しい働き方やライフスタイルが普及・定着しつつあります。

ポストコロナに向け、各地域は、コロナ禍がもたらした新たな価値観や行動の強みを活かしつつ、経済の活性化や担い手の確保、感染症に対しても強い地域社会の構築をそれぞれ両立していくことが求められています。

今回のオンラインイベントでは、
ポストコロナを見据えた
これからの地方創生について考えます。



登壇者

内閣府地方創生推進事務局長 青木 由行 氏
事業プロデューサー／神戸大学客員教授 安川 幸男 氏
進行 若い鳥取県応援団 団長 辻 堅太郎

3/29 (火)
2022
18:30~

zoom によるオンライン開催

3月27日までに、
お名前、ご所属、登壇者への質問（任意）を書き、
若い鳥取県応援団事務局（wakaitottori@gmail.com）へ
メールで申し込み下さい。

登壇者プロフィール



青木 由行氏

山口県出身。
昭和61年建設省（当時）入省。平成8年から4年間宮崎県で交通、企画調整担当の課長をつとめた後、国土交通省で道路、まちづくりの担当を経て、平成17年から4年3か月鳥取県に勤務し、生活環境部次長、文化観光局長、企画部長として、まちづくり、文化、観光、国際交流、交通、UIターン、中山間地域対策、大学や地域づくり団体との連携、県のビジョンづくりなどを担当。平成21年内閣官房地域活性化統合事務局、平成23年復興庁に勤務後、国土交通省で建設業課長、政策課長、道路局次長、都市局長、不動産・建設経済局長等を経て令和3年7月より現職。



安川 幸男氏

東京都出身。鳥取市在住。
出版・メディア業界を経て、株式会社NTTデータに入社。社内ベンチャー設立など、15年間NTTグループで事業開発・戦略を担当。2016年、鳥取へ1ターン移住。鳥取県庁へ入庁。商工労働部で起業家支援を担当。2018年、株式会社鳥取銀行へ移り、若手後継者の育成、非金融ビジネスを推進。2020年、＜産・官・学・金＞すべてを経験したことを活かし、事業プロデュースに特化した法人を設立。神戸大学客員教授就任。現在は関西・中四国地域で5つの人材育成塾を設立し、地方での「人づくり」に情熱を捧げる。

お問い合わせ

若い鳥取県応援団

✉ wakaitottori@gmail.com

☎ 090-7778-8792